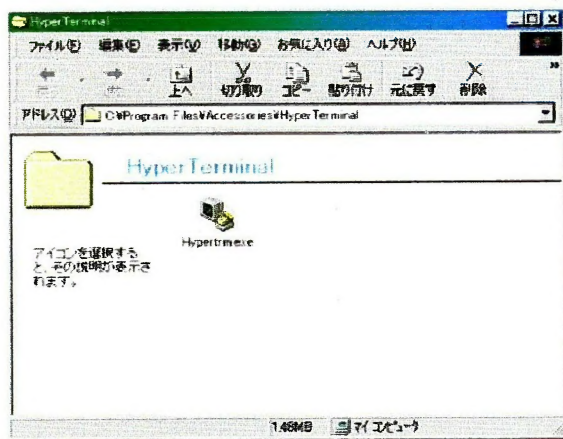
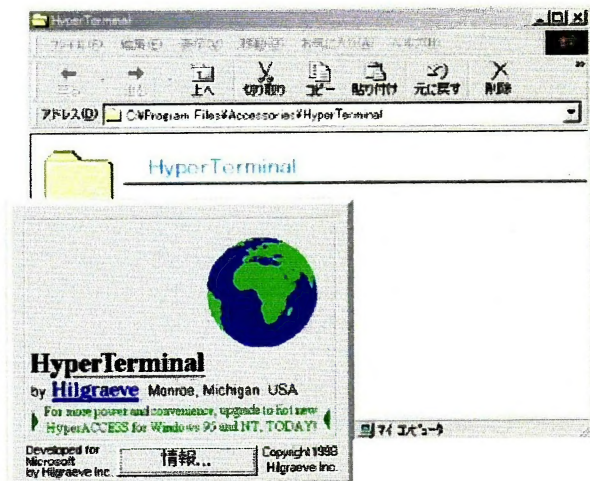


GP-1640F に記録された目的地データを PC へ転送するためには

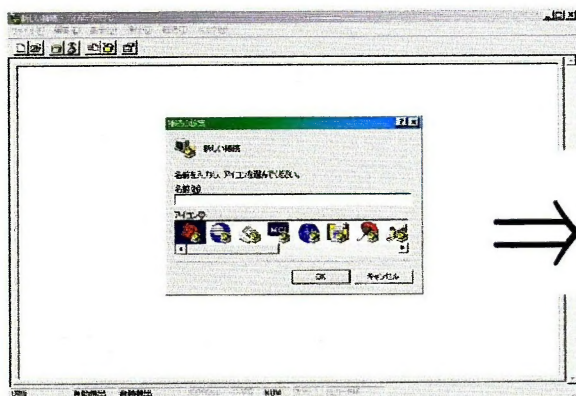
以下の説明は、GP-1640F 付属の取扱説明書 11-13 頁に記載の接続ケーブルを作製し OS が Windows98 のパソコンで行ったものです。他の OS での動作確認は当課までお問い合わせ願います。



Windows98 に付属するアクセサリの
HyperTerminal を使って説明します。

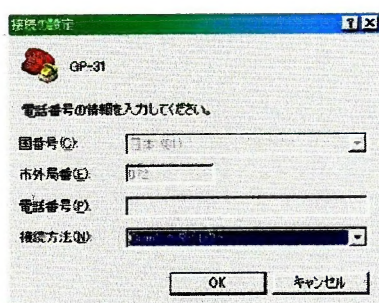


HyperTerminal.exe のアイコンをクリック
新しい接続設定を行います。

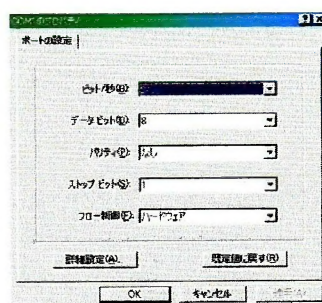


注：上図では GP-31 となっています。

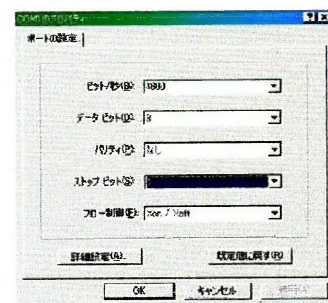
(新しい接続) 名前の入力とアイコンを選択します。(例) 名前を GP-1640F にして [OK] を押す。



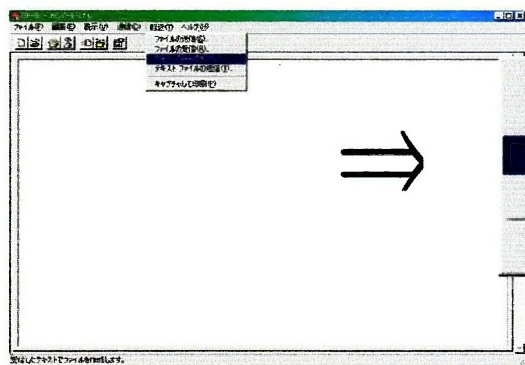
接続方法で右端の[▼]を押し
[Com 1 ヘダイレクト]を選択
し[OK]を押す。



COM 1 のプロパティ



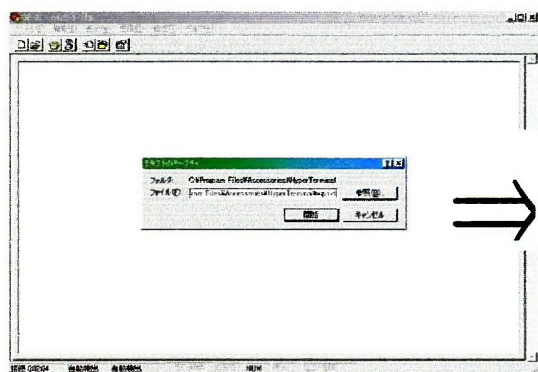
ビット/秒を[▼]で[4800]
フロー制御を[▼]で[Xon/Xoff]
を選択し[OK]を押す。



ファイルの送信(S)...
 ファイルの受信(R)...
テキストのキャプチャ(C)
 テキスト ファイルの送信(T)...
 キャプチャして印刷(P)

UPLOAD の場合は[テキストファイルの送信]を選択

目的地データの PC への転送を行います。[転送]を押しダウンメニューの[テキストのキャプチャ]を選びます。(注)[ファイルの受信]ではありません。



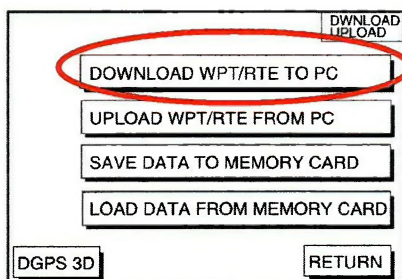
テキストのキャプチャ
 フォルダ: C:\Program Files\Accessories\HyperTerminal
 ファイル(F): ram Files\Accessories\Hyper Terminal\wp.txt 参照(R)...
 開始 キャンセル

テキストファイルの名前を入力します。

(例)HyperTerminal と同じフォルダ -に名前を[wp. txt]とします。(注)後の処理を考慮してユーザ -指定のフォルダ - (ダウンロードしたファイルの収納フォルダ -)にした方が便利です。

[wp]は WayPoint の頭文字。[wp]に処理日を付加しても分かり易くなると思います。

[wp]の後のドット+3 文字[. txt]を[. csv]にすると Excel で読み取る際に手間が省けます。



SAVING START?
 (PC READY?)
 ARE YOU SURE?
 YES NO

[Y E S]を押す前に GP-1 6 4 0 F の PC への転送準備を行い、[Y E S]を押します。

(取扱説明書の 11-12~11-14 を参照願います。)

目的地の転送で HyperTerminal の画面にデータが表示され、終わりますと HyperTerminal の画面が止まります。次に HyperTerminal の画面の[転送]を押しダウンメニューの[テキストのキャプチャ]を選択するとその右側に[停止]と[一時停止]のコマンドが表示されますので、[停止]を選びます。

これで、GP-1640F の目的地データは PC に転送されました。

このデータは Excel などの表計算ソフトで加工が出来ます。

(注) これらの処理はユーザーの責任で行ってください。

ユーザーお持ちの GP-1640F 入力済データが消失してもメーカーは責任を負いかねます。

Windows 7 ではハイパーターミナル機能が有りませんので別途 Tera Term 等をご利用下さい。
 例) <http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/remote/utf8teraterm.html>